


再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名	一般国道8号白根 ^{しろね} バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北陸地方整備局									
起終点	自：新潟県新潟市保坂 ^{にいがたしほさか} 至：新潟県新潟市戸頭 ^{にいがたしとがしら}				延長	5.9 km									
事業概要	一般国道8号白根バイパスは、新潟市中心部地域拠点を結び、交通障害の解消、地域振興への支援、地域ネットワークの充実強化に対して重要な役割を担っている、延長5.9 kmのバイパスである。														
S63年度都市計画決定	H3年度都事業化		H9年度用地着手		H12年度工事着手										
全体事業費	300億円		事業進捗率	32%		供用済延長	0 km								
計画交通量	39,100台/日														
費用対効果 分析結果	B/C	総費用		総便益		基準年									
	(事業全体) 2.5 (残事業) 3.9	(残事業)/(事業全体) 177/272億円 (事業費：155/251億円 維持管理費：22/22億円)		(残事業)/(事業全体) 684/684億円 (走行時間短縮便益：652/652億円 走行費用減少便益：24/24億円 交通事故減少便益：8/8億円)		平成17年									
感度分析の結果	残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=3.5~4.3（交通量±10%） 事業費変動：B/C=3.6~4.2（事業費±10%） 事業期間変動：B/C=3.7~4.1（事業期間±20%） 割引率変動：B/C=3.3~5.0（割引率±1%）														
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 円滑なモビリティの確保（現道等の混雑時旅行速度の改善が期待される） 生活環境の改善・保全（現道の騒音レベルが要請限度を下回ることが期待される） 他9項目に該当 														
関係する地方公共団体等の意見	白根バイパスは、走行速度の向上による渋滞の緩和並びに交通事故の軽減、自動車騒音による沿道環境の改善などに重要な役割を果たすことが期待されており、旧白根市をはじめとする関係2市の首長で構成される一般国道8号改良整備促進期成同盟会等より早期整備の要望を受けている。														
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	事業周辺箇所では近年、大型小売店舗や宅地、総合公園などの開発が進んでいる。														
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成12年度より工事着手しており、地元合意のもと用地買収は69%進捗している。														
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	平成20年代に暫定2車線供用する予定である。														
施設の構造や工法の変更等	新技術、建設発生土の有効活用、再生材を利用等により、コスト削減を考慮している。														
対応方針	事業継続														
対応方針決定の理由	事業の効果並びに事業の実施状況を踏まえ、事業の継続が妥当である。														
事業概要図	<table border="1" style="float: left; margin-right: 20px;"> <tr> <th colspan="2">凡 例</th> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc; width: 20px; height: 10px;"></td> <td>供 用 中</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0e0e0; width: 20px; height: 10px;"></td> <td>再評価区間</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #f0f0f0; width: 20px; height: 10px;"></td> <td>うち供用部</td> </tr> </table> 							凡 例			供 用 中		再評価区間		うち供用部
凡 例															
	供 用 中														
	再評価区間														
	うち供用部														

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。